

今、読書の世界に伝えたいこと：テクノロジーの新時代。

1 みんなさん、こんにちは。 レイチェルフィッシャーと申します。 今日には新しいテクノロジーについて話したいと思います。そのテクノロジーは電子ブックリーダーといいます。皆、電子リーダーのことに御存じでしょうか？ このデバイスを使うと、電子書籍（しょせき）が読めます。タブレットのような形ですが、液晶ディスプレイの代わりに、電子ペーパーを使います。目に優しくて（やさし）、外で読む時、まぶしくありません。また、本がほしくなったら、Wi-Fi、3G等を使うとどこでも買えます。本当に本にとって新しい時代が始まったようです。

2 日本では、このようなデバイスの人気が出てきているようです。楽天Koboとか、Amazon Kindleとか、Sony Readerとかの電子リーダーを時々電車、バス等で見かけますが、このようなデバイスは日本ではまだ普及していないようです。今日は特にAmazon Kindleについて話したいと思います。Kindleとは、本がやすく、買いやすく、そして出版者（しゅっぱんしゃ）がないのに本が出版出来るという売り点があります。これがAmazon Kindleの特徴です。

3 伝統的な出版社を使わずに、電子書籍を出版すれば、もっともって作者は自分の言いたいことを伝えられるようになります。普通に出版出来なかった本も、Kindleで掲載されるようになってきています。そして、Kindleの場合、電子書籍に編集（へんしゅう）プロセスが必要ではありません。普通に、本を出版するために作者は本を書いて、出版社に出して、そしてその出版社が「はい」、または「いいえ」と言います。そのようなプロセスで本が掲載（けいさい）されるようになります。けれども、Kindleのプロセスでは作者が本を書くと、すぐにそれが掲載（けいさい）されます。そういうわけで、Kindleで読める本は出版社ではなく、作者がすべてを決めて管理します。JK. ROWLINGのハリー・ポッターはとても有名なシリーズですね。けれども、最初的に出版社はシリーズを印刷するのそことれりました。ブルームズベリーの出版社はシリーズを受け取らなかったら、ハリー・ポッターはいったいどうなっていました？ もうしかしたら、伝統的な出版者は公衆（こうしゅう）が読みたい本を出版するのができません。そのような原理（げんり）とはKindleで出版するの基本です。

4 メインストリーム以外の文学、同人誌等が最近Kindleに現れていま

すから、もうすぐ電子書籍リーダーは増えると思います。Kindleで作者は本物の伝えたいことを言えるようになり、そして出版に本当に新しい時代が始めたと思います。皆は電子リーダーで本を読んでもみませんか。皆さんお聞きになり、ありがとうございます。